

## 「インドアカップ研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

### 1 内容

年齢、性別、体力などに関係なく楽しむことができるスウェーデン発祥の的当て・陣取りゲームを行う。

### 2 ねらい

- ・グループで活動し、協調性や一体感を養う。
- ・チームゲームを通して汗を流し、仲間との交流を深める。

### 3 対象者

小学校第5学年以上

(保護者または引率者と組んで活動する場合は小学校第4学年以下も可能)

### 4 人数

最大72人(全員が一斉に行う場合)

(1チーム6人 1コート最大12人)



### 5 実施時期、時間、場所

(1) 実施時期 通年

(2) 時間 9時00分～11時30分  
13時00分～16時00分

(3) 場所

体育館(6コート) 講堂(4コート) 武道館(2コート) 海洋科学室(1コート)  
その他研修室(3室×1コート)

### 6 準備物

(1) 個人：運動に適した服装 タオル 飲み物

(体育館の場合) 体育館シューズ

(2) 交流の家(事務室)：カップルールシート コート設置図

(体育館倉庫)：インドアカップセット  
(設置コート数分)



<インドアカップセット一式>

### 7 指導及び安全管理

(1) 団体は、インドアカップの指導及び安全管理を行う。

(2) 団体は、次の役割を担う。(小規模の団体は担当を兼ねることができる。)

- ・総括責任者(全体の総括、指導)・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人
- ・指導担当者(用具の準備、後片付けの指示)・・・・・・・・・・1人以上
- ・救護担当者(健康観察、応急処置、AED設置場所の確認)・・・・1人以上

(3) 事故発生時の処置

総括責任者は事故の状況を把握し、交流の家に携帯電話で連絡する。

## 8 展開

### (1) 「物品利用希望書」の提出

団体は、「物品利用希望書」に必要事項を記入し、入所時までに交流の家へ提出する。

### (2) 研修の準備

ア 体育館倉庫からインドアカップセットを出す。

イ 事務室で携帯用救急バッグ（1個）を受け取る。

ウ 研修生と一緒にコートを設置を行う。（資料「コート設置図」参照）

### (3) ゲームの説明、指導等

ア 研修生を研修場所に集合させる。

イ 研修生の健康観察を行う。

ウ チームを編成する。

エ インドアカップセット及びルールシートを各チームに渡す。

オ 研修の目的、ゲームのルール及び進め方（資料「クッブルールシート」参照）、注意事項を説明する。

カ ゲームをスタートさせる。

キ 研修生の様子を観察する。

ク 研修生に適宜休憩をとらせるとともに、水分補給をさせる。

### (4) 片付け等

ア インドアカップセット及びルールシートを回収する。

イ 研修生の健康観察を行う。

ウ 順位を決定する。

エ まとめ（成績発表・講評）を行う。

オ 研修場所を清掃する。（床のモップ掛け、掃除機掛け等）

カ 研修生とともにインドアカップセットを体育館倉庫に返却（整理整頓）する。

キ 研修終了及び物品の破損の有無を事務室へ報告するとともに、救急バッグを返却する。

### (5) その他

インドアカップセット等が破損した場合は、実費負担の弁償となる。

## 9 連絡先

江田島青少年交流の家 (0823)42-0660

(0823)42-0661